

まちの出来事

1/24 川上こども園 寒さなんか吹っ飛ばせ



ニュースポーツを楽しむ親子

「地頭地区ふれあいレクリエーション」（地頭協議会主催）が行われ、地域住民ら約 50 人が参加しました。親子らがニュースポーツの“ペタンク”に挑戦。金属製のボールを投げ、目標球に近づいたり、相手のボールを弾いたりするたびに歓声が上がっていました。甘酒なども振る舞われ、じゃんけん大会や体を動かすゲームなども楽しみ、3 世代が交流する親睦が深まる 1 日となりました。

1/16 市民体育館 息を合わせてジャンプ！



日頃の練習の成果を発揮する児童

青少年の健全育成を目的に「第 28 回体力づくりなわとび大会」（高梁ライオンズクラブ主催）が開かれ、高梁市、新見市、吉備中央町から小学生約 400 人が参加しました。

学年別に連続前跳びの時間を競う個人戦と、8 人 1 組で跳んだ回数を競う団体戦が行われ、息を合わせて跳ぶ姿に、大きな声援が送られていました。団体戦の優勝は巨瀬小「巨瀬ファイターズ」。

1/27 文化交流館 農業担い手の活躍に期待



激励を受ける新規就農者の皆さん

「高梁地域農業者のつどい」（市、びほく農協、備北広域農業普及指導センター主催）が行われ、農業関係者など約 100 人が参加しました。

新規に就農した 4 人の激励会に続き、備中町の林輝さんが「イノシシ捕獲対策の検討」と題して発表を行いました。中山間地域の活性化をテーマにした講演会では、集落営農に取り組む事例が紹介され、参加者は熱心に聞き入っていました。

1/23 高梁国際ホテル 教育者・方谷の功績を学ぶ



真剣に聴講する参加者

郷土の偉人・山田方谷の功績を学ぶとともに、三島中洲など方谷が影響を与えた人物にも焦点を当てた「山田方谷の軌跡（～奇跡～）」（同実行委員会主催）が開催されました。

約 130 人が受講。三島中洲が創設した二松学舎大学の教授らが講演し、方谷の魅力を解説しました。NHK 大河ドラマ放映実現を目指す取り組みも紹介され、機運を盛り上げていました。

キラキラきらめく①

田邊 明架里さん

たなべ あかり 26 歳 成羽町下原

明架里さんは成羽町出身。高校を卒業後、京都造形芸術大学に進学し、大阪の福祉施設で 2 年間働いた後に帰郷しました。

現在は曾祖父の代から続く、陶磁器専門店「田辺白山荘」で陶芸家として働いています。福祉施設の利用者が作る、型にはまらない作品が、明架里さんの創作活動に影響しているといいます。

「祖父と母が土台を作ってくれた。自分は新たなことに挑戦していきたい。陶芸家としての原点は、子どもの頃から神楽や成羽美術館などで文化に触れてきたこと」と話してくれました。

趣味は写真とサイクリング。沖縄で「ウミウシ」を撮ってみたいそうです。



高梁の高校に行こう! ⑤ 宇治高校編



はにかみ笑顔が印象的な富岡君。高校での目標は、「習ったことを全て覚える」こと。その理由は、「大事なことをたくさん知りたいから」。

宇治高校は生徒数が少ないこともあり、教員と生徒一人一人が密接に関わっています。

この日の 3・4 限目は「キャリアスキル」の実習

授業。宇治高校の案内看板を、3 人の先生、5 人の仲間と共に製作しました。

AM 8:55 国語

AM 9:50 体育

AM 10:45 キャリアスキル

宇治高校 29・2004

PM 3:30 部活動(卓球部)



PM 5:30 下校

父さんの「お父さん、おいしう、おいしう？」と聞く「ウマイです」と笑顔で答えてくれました。

さて、富岡君の将来の目標は、父親の跡を継いでブドウ農家になること。「お父さんのブドウ、おいしう、おいしう？」と聞く「ウマイです」と笑顔で答えてくれました。

富岡 廉くん
(宇治高校普通科 1 年)

AM 8:20 登校

PM 0:25 昼休み

PM 1:05 日本史

PM 2:00 ソーシャルスキル



のとある一日